

第 4 章 地域保健福祉の推進

第1節 健康危機管理

1 健康危機管理に関する研修会・連絡会

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
平成 29 年 12 月 28 日 (木) 10:00~12:00 石川中央保健所	【健康危機管理研修会】 ・新型インフルエンザ発生時対応訓練 ・新型インフルエンザ発生時の保健所の役割確認と健康調査の実技訓練を実施	保健所 職員	24 人
平成 30 年 3 月 15 日 (木) 15:30~17:00 県庁	【災害時医療関係機関連絡会】 ・地域医療救護活動支援室について (保健所) ・EMISについて 公立松任石川中央病院 救急医療部長 安間 圭一 氏 (災害医療コーディネーター) 地域支援部医療連携課主幹 宇野 寛一 氏 (石川DMAT隊員) ・被災状況や医療ニーズの把握に関する保健所からの提案 (保健所) ・意見交換	災害拠点病院 石川DMAT指定病院 日本赤十字病院 救急告示病院 郡市医師会 消防本部 管内市町 県危機対策課 県医療対策課 県保健所	48 人

第2節 関係機関との連携

1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会

会議名	実施日 開催場所	参集者	出席 人数	目的	会議内容
石川中央医療圏保健医療計画推進協議会	10月23日(金) 県庁	医師会(県・郡市)、歯科医師会、薬剤師会、病院、病院協会、食生活改善推進協議会、女性団体、市町、消防署、糖尿病地域協議会	49	地域保健・医療の基本的指針の策定及び充実強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想の推進について ・第7次医療計画の策定について ・意見交換
	3月27日(火) 県庁	医師会(県・郡市)、歯科医師会、薬剤師会、病院、病院協会、食生活改善推進協議会、女性団体、市町、消防署、公立・公的病院	45		<ul style="list-style-type: none"> ・公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて ・意見交換
保健所運営協議会	1月11日(木) 県庁	医師会、歯科医師会、薬剤師会、福祉関係、利用者、市町	14	地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の事業概要について ・食品衛生管理の国際標準化について ・麻しん発生に伴う保健所の対応について
歯の健康づくり推進地域会議	12月14日(木) 県庁	歯科医師会、市町	10	歯科保健における市町の取組を共有し、課題抽出と解決方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科口腔保健の推進に関する国及び県の動向について ・糖尿病治療における歯科医とかかりつけ医の連携について ・意見交換

2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業

石川県第6次医療計画は平成25年度から開始し、糖尿病医療については、保健と医療が一体的に対策を推進することを目指して郡市医師会単位で取組むこととなった。糖尿病患者の早期発見・早期治療や重症化予防のための診療連携体制の構築を図ることを目的としている。

	白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会	河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会
委員	公立松任石川中央病院、公立つぎ病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、白山市、野々市市、保健福祉センター	金沢医科大学病院、河北中央病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、職域(金沢医科大学、PFU)、かほく市・津幡町、内灘町、保健福祉センター
事務局	公立松任石川中央病院	金沢医科大学病院
協議会	3回	2回
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病重症化予防のための連携強化(糖尿病合併症検査(糖尿病ドックパス)の運用、連携手帳の活用等 ・研修会、講演会、症例検討会(6回)、市民講座(2回)の開催等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健医療連携体制」の取り組み継続 ・医療従事者向け研修会、症例検討会、講演会(11回)の開催 ・住民向け啓発活動(各市町でのフェア3回、ブルーライトアップ等)
成果発表会	H30.3.4	

3 市町支援

(1) 活動方針

- ア 市町（関係機関）からの要望に応じて支援を実施する。
- イ 管内の状況を把握し、保健所が介入した方がよいと判断した支援等を実施する。

(2) 基本的な視点

- ア 社会情勢の変化により必要となる体制整備が円滑に推進されるよう支援する。
- イ より効果的、効率的に保健事業を推進するために、職員の資質の向上ができるよう支援する。

(3) 市町支援の重点課題

- ア 母子保健
 - ・多胎妊産婦・育児支援教室の実施（広域）
 - ・ハイリスク妊産婦の保健医療連携への支援
- イ 特定健診・特定保健指導
 - ・効果的な特定健診・特定保健指導実施体制の充実
 - ・第2期特定健診等実施計画に基づいた計画的な実施
 - ・受診率の向上、効果的な保健指導の更なる推進
 - ・糖尿病重症化予防ネットワーク事業への支援
- ウ 健康増進・地区組織育成・健康づくり計画
 - ・食育の推進
 - ・がん検診受診率向上対策の推進
 - ・健康増進計画（第2次）策定への支援
 - ・健康増進計画に基づいた事業実施への支援
- エ 障害保健福祉
 - ・在宅精神障害者や家族からの相談への支援
 - ・自殺対策の推進
 - ・自立支援協議会への支援
- オ 感染症対策・予防接種
 - ・感染症発生時に適切な対応ができるよう体制整備
 - ・予防接種事業の評価
 - ・地域密着型高齢者施設への巡回指導
 - ・市町新型インフルエンザ等対策行動計画策定への支援
- カ 高齢者に関すること
 - ・地域の実情に応じた介護予防体制の整備
 - ・改定された高齢者施設における防災計画作成指針に基づく防災関係の体制整備
- キ 健康危機管理
 - ・災害時における健康危機管理体制の整備・充実

(4) 市町と保健福祉センターとの事業検討会

(平成29年度)

市町名	実施日時・会場	出席者	内容
かほく市	平成29年5月16日(火) 14:00~16:00 かほく市宇ノ気保健福祉センター	市町: 保健福祉担当課長 〃 担当者	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度における市町事業の課題、保健所への支援要望等について 意見交換
白山市	平成29年5月24日(水) 13:30~16:30 健康センター松任	保健福祉センター: 企画調整課長 健康推進課長 健康推進課担当課長 企画調整課専門員	
野々市市	平成29年5月12日(金) 14:00~16:00 野々市市保健センター		
津幡町	平成29年5月15日(月) 13:30~15:30 津幡町役場		
内灘町	平成29年5月15日(月) 10:00~12:00 内灘町保健センター		

(5) 市町支援実績

(平成29年度)

	策定・保健 地区計画 の 診断	母子 保健 健	健康 増 進	生活 介護 支 援 防	歯 科 保 健	感 染 症	精 神 保 健 福 祉	難 病	介 護 保 険	健 康 危 機 管 理	そ の 他	計
実施回数	22	126	58	15	2	1	63	-	27	5	12	331
参加延人数	358	1,230	720	291	26	10	801	-	646	144	288	4,514

※市町が主催した研修会・会議等で行った市町支援も含む

第 3 節 学会発表

1 北陸公衆衛生学会（第 4 5 回）

開催日：平成 2 9 年 1 1 月 1 0 日（金）

開催地：福井県

発表方法：口頭発表

麻しん患者発生時の石川中央保健所の対応

一原淳子 濱松溪子 寺西久子 織田敏郎 伊川あけみ（石川県石川中央保健福祉センター）

1 はじめに

平成 29 年 4 月 10 日に金沢市で麻しん患者が届出されたが、その事例からの 2 次感染者が管内で出たため、当保健所で行った 3 次感染予防対策について報告する。

2 2 次感染者の把握

30 歳代男性。麻しんワクチン接種歴不明。4/7 に初発患者と接触後、4/20 に発症(症状は軽く経過)。4/23 に当保健所に連絡が入り、E 病院の救急外来へ受診調整を行い、当夜受診。4/24 に PCR 検査で麻しんと確定された。発症後に A 診療所、B 店舗、C 店舗（管外）、D がソリストア[®]（管外）に立ち寄っていた。

3 健康調査対象者への 3 次感染予防対策の実施状況

対象者：家族、A 診療所・B 店舗での接触者 計 54 名(0 歳～80 歳代 うち妊婦 3 名)

(1)緊急ワクチン接種

明確な麻しん罹患歴がなく、ワクチン接種歴不明または 1 回のみ接種の者(60 歳以上の者と妊婦を除く)に対して緊急ワクチン接種を A 診療所にて実施した。

対象者	接種者	接種期間	(未接種者 7 名の状況)	
27 名	20 名	4/24～4/25	体調不良	2 名
			他の生ワクチン接種後 27 日未満	1 名
			接触無しと主張	2 名
			勧奨したが受けず	2 名

(2)免疫グロブリン製剤投与

妊婦 3 名に免疫グロブリン製剤投与の有効性と危険性について説明し、同意を得た上で受診中の産科医に依頼し抗体検査を実施した。（妊婦 A 6.1、妊婦 B 2.1、妊婦 C 7.3）

3 名とも抗体価が低いため、製剤の確保並びに投与医療機関との調整を行い、4/28 に免疫グロブリン製剤 10ml(1500mg)を投与した。

(3)健康観察

対象者全員に、接触から 3 週間（免疫グロブリン製剤投与を受けた者は 4 週間）健康観察を依頼し、症状のあった 2 件（実 1 名）について医療機関への受診調整を行った。

4 結果 健康観察中に受診調整を行った 2 件については胃腸炎との診断で、今回の麻しん患者からの 3 次感染者は出なかった。

5 考察

- ・今回の患者は症状が軽かったこともあり、発症後の行動範囲が広がり接触者が増加した。接触者を増やさないために、感染の可能性がある者には健康観察の必要性や発症時の外出の自粛、保健所への連絡など十分に指導を行う必要がある。
- ・麻しん（疑いを含む）を発症した者が医療機関を受診する際には、医療機関に正しく情報を伝えるために保健所が調整を行う必要がある。
- ・県内に麻しん患者が発生したという報道で県民の関心が高まり、一部医療機関でワクチンが不足したとの情報があったことから、普段から緊急ワクチン接種に備えた体制（医薬品卸業者の協力によるワクチンの融通など）を整えておく必要がある。
- ・妊婦はワクチン接種ができないため、免疫グロブリン製剤による発症予防を推奨したが、血液製剤としての危険性が否定できないことなどから、妊婦への対応については苦慮した。麻しん発症者に接触した妊婦に対する具体的な指針が必要と考える。

第5節 研修・学生指導

1 地域保健従事者への研修

(平成29年度)

項目	日時・会場	対象	研修内容	参加者数
特定健診・保健指導従事者研修会	平成29年9月11日(月) 12:00～16:30 石川県リハビリテーションセンター	管内保健指導従事者	【第一部】市町担当者情報交換会 「健診委託医療機関に対する健診事業説明会」について 【第二部】事例検討会 「効果的な保健指導を行うための事例検討」 助言者 元ブリヂストン磐田工場保健師 門田しず子 氏	42人
特定給食施設管理者等研修会	平成30年2月15日(木) 14:30～17:00 石川県庁	特定給食施設の管理者 事業所の給食管理部門の責任者	講義 「働く世代の健康づくり～「食」から取り組む実践対策」 講師：北陸体力科学研究所 理事長 勝木保夫 先生 取組報告 「従業員を対象とした食生活改善の取り組みについて」 講師：KOMATSU 本社健康増進センター 管理栄養士 吉國厚子 氏	29人
河北郡市栄養指導関係者連絡会	平成30年2月1日(木) 14:00～17:00 河北地域センター	河北郡市内病院・保険者・検診機関	・連絡会開催の経緯・背景について(保健所) ・津幡町の取組について(津幡町管理栄養士) ・河北中央病院の取組について(河北中央病院管理栄養士) ・みずほ病院の取組について(みずほ病院管理栄養士) ・意見交換	36人

2 医師臨床研修

平成16年度から医師に対する2年間の臨床研修が必須化(医師法等の一部改正)し「地域保健・医療」研修の一環として保健所における研修を実施している。

(平成29年度)

病院名	研修医数	研修期間
金沢医科大学病院	2	7月(1ヶ月間)

3 学生実習指導等

(1) 学生実習オリエンテーション

保健所の業務内容の説明

日時	学校	学生数
平成29年4月26日	金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻、 金沢医科大学看護学部	金大8名、医科大19名 計17名
平成29年4月27日	県立看護大学、県立総合看護専門学校第三看護学科	看護大32名、総看30名 計62名

(2) 現地実習

各課担当者からの講義及び演習等

(平成29年度)

学校名	学生数	実習期間
県立看護大学	32人	平成29年5月、6月 (2日間×3G)
金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	8人	平成29年7月 (2日間)
金沢医科大学看護学部	19人	平成29年7月 (2日間)
淑徳大学、仁愛大学	2人	平成29年8月 (5日間)